

ことがその御思いを受け止める道です。

4:6 これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたはキリスト・イエスのりっぱな奉仕者になります。信仰のことばと、あなたが従って来た良い教えのことばとによって養われているからです。

4:7 俗悪な、年寄り女がするような空想話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分を鍛練しなさい。

4:8 肉体の鍛練もいくらかは有益ですが、今のいのちと未来のいのちが約束されている敬虔は、すべてに有益です。

4:9 このことばは、真実であり、そのまま受け入れるに値することばです。

4:10 私たちはそのために労し、また苦心しているのです。それは、すべての人々、ことに信じる人々の救い主である、生ける神に望みを置いているからです。

4:11 これらのことを命じ、また教えなさい。

年の若い指導者であるテモテに、パウロが具体的なアドバイスを送っています。テモテよりも人生経験の長いクリスチャンはいたでしょうが、パウロはテモテを指導者に任じました。主の働きは年齢ではなく、「信仰のことばと、…良い教えのことばとによって養われている」ことが大切なのです。もちろん年配者でも同じです。このような養いに目を留めて、大切にしていきたいでしょう。

信仰には「鍛練」も必要です。救われたのだからそれでいい…というのではなく、成長のために努力しましょう。みことばから勧められることはやってみましょう。また自分は自分のままでいいからチャレンジはしない…というのではなく、努力しましょう。

鍛練ですから、それは実践をすることによる成長です。敬虔とは神様の思いで生きることです。祈る

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

